



ようこそ

ちばしちゅうおうとしょかん  
千葉市中央図書館へ



やさしい りょう あんない





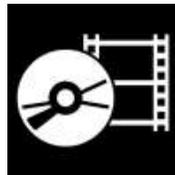
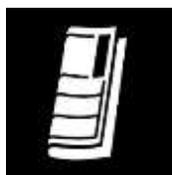
# もくじ

<small>と しょかん</small> 図書館へ ようこそ.....	4
<small>ほん</small> 本を さがす.....	8
<small>か あど</small> りようカードを つくる.....	9
かりる.....	1 2
かえす.....	1 4
<small>ほん</small> <small>ひ</small> 本をかえす日を のばす.....	1 6
よやく.....	1 8
<small>こ び い</small> コピー.....	2 0
<small>ほん</small> <small>いえ</small> 本を 家に とどけて ほしい.....	2 2
てつだいが <small>ひと</small> ひつような人は.....	2 6
<small>と しょかん</small> 図書館からの おねがい.....	3 2

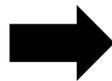
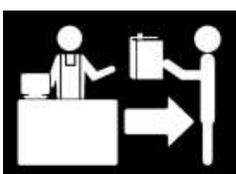




# としょかん 図書館へ ようこそ



としょかん  
図書館は、いろいろな なかみの ほん、ざっし、しんぶん、  
しいでいい、でいいがいでいい  
CD、DVDなどをたくさん そろえて、みなさんをおまちしています。



ほん  
本をよんだり、かりたりするのに、おかねはいりません。



ちゅうおう と しょかん  
中央図書館の ばしょ

〒260-0045 <sup>ちばし</sup>千葉市 <sup>ちゅうおうく</sup>中央区 <sup>べんてん</sup>弁天 3-7-7



ちゅうおう と しょかん  
中央図書館の でんわ 043 (287) 3980



ちゅうおう と しょかん  
中央図書館の <sup>ふあつくす</sup>FAX 043 (287) 4074



ちゅうおう と しょかん  
中央図書館に <sup>いちばんちか</sup>一番近い駅 <sup>えき</sup>



<sup>じえいあある</sup>J R <sup>ちばえき</sup>「千葉駅」 または



<sup>ちばものれえる</sup>千葉モノレール <sup>ちばこうえんえき</sup>「千葉公園駅」



ちゅうおう と しょかん

中央図書館が あいている じかん

- ・ 火<sup>か</sup>よう日<sup>び</sup> から 金<sup>きん</sup>よう日<sup>び</sup>は、  
    ごぜん9じ30ぷん から ごご9じ まで
- ・ 土<sup>ど</sup>よう日<sup>び</sup>・ 日<sup>にち</sup>よう日<sup>び</sup>・ 祝<sup>しゅくじつ</sup>日は、  
    ごぜん9じ30ぷん から ごご5じ30ぷん まで



ちゅうおう と しょかん

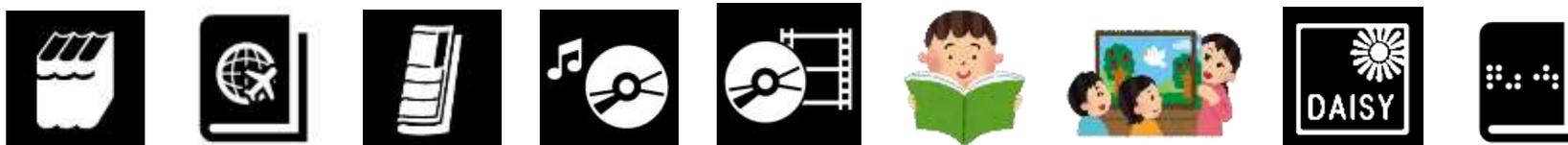
中央図書館が しまっている日<sup>ひ</sup>

- ・ まいしゅう 月<sup>げつ</sup>よう日<sup>び</sup> (祝<sup>しゅくじつ</sup>日は あいています)
- ・ まいつき 3ばんめの 木<sup>もく</sup>よう日<sup>び</sup> (あいている日<sup>ひ</sup>も あります)
- ・ ねんまつ ねんし (12月<sup>がつ</sup>29日<sup>にち</sup> から 1月<sup>がつみっか</sup>3日)
- ・ 本<sup>ほん</sup>の てんけんを しているとき

ちゅうおう と しょかん  
中央図書館は、<sup>ほん</sup>本などは、かいてある なかみや、  
かたちごとに わけて、 おいてあります。



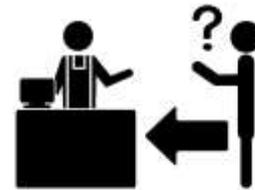
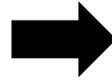
【2かい】 いろいろな <sup>ほん</sup>ないようの本、<sup>がいこくご</sup>外国語の本、<sup>ほん</sup>しらべるための本、  
<sup>ほん</sup>しんぶん、<sup>ざっし</sup>ざっし、<sup>ちず</sup>ちず、<sup>でんわちよう</sup>でんわちよう、<sup>ちば</sup>千葉についての<sup>ほん</sup>本など



【1かい】 <sup>ほん</sup>あたらしい本、<sup>りょこうが い ど ぶ っ く</sup>旅行ガイドブック、<sup>ほん</sup>ぶんこほん、<sup>おお も じ</sup>大きな文字の本、  
<sup>しいでいい</sup>CD・<sup>でいいい</sup>DVD、<sup>ざっし</sup>ざっし、<sup>ほん</sup>あたらしい しんぶん  
<sup>ほん</sup>こどものための本、<sup>かみしばい</sup>かみしばい、<sup>わかひ</sup>わかい人のための<sup>ほん</sup>本、  
<sup>からだに</sup>からだに <sup>しょうがい</sup>しょうがいがある<sup>ひと</sup>人のための<sup>ほん</sup>本（<sup>こえ</sup>声の本・<sup>てんじ</sup>点字の本）など



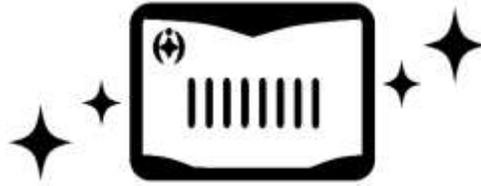
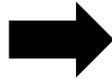
# ほん 本を さがす



よみたい本が <sup>ほん</sup>どこに <sup>み</sup>あるのか 見つけられないとき、  
なにを よんだら いいのか わからないときは、  
<sup>としょかん</sup> <sup>ひと</sup> <sup>き</sup>図書館の人に 聞きましょう。



# かあど りようカードをつくる

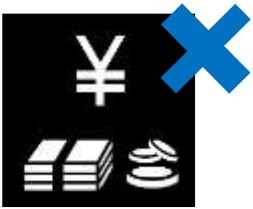


○はじめて <sup>ほん</sup>本を <sup>かり</sup>るときは、 <sup>かあど</sup>りようカードを <sup>つく</sup>りましょう。

○りようカードは、 <sup>だれ</sup>でも <sup>つく</sup>ることが <sup>でき</sup>ます。

○りようカードは、 <sup>ど</sup>この <sup>ちばし</sup>千葉市の <sup>としょかん</sup>図書館・ <sup>こうみんかん</sup>公民館 <sup>としょしつ</sup>図書室でも <sup>つか</sup>うことが <sup>でき</sup>ます。

○りようカードは、 <sup>5</sup>年 <sup>た</sup>ったら <sup>とう</sup>ろくした <sup>じょう</sup>ほうの <sup>こう</sup>しんを <sup>し</sup>ます。



○りようカードを つくるのに、 おかねは いりません。

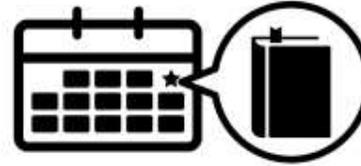
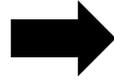


○カードを つくるところは、 1かいの とうろくカウンターです。

○りようカードを つくりたいときは、

自分の なまえと すんでいるところが わかるものを 図書館の人に 見せましょう。

○千葉市外に すんでいる人で、 千葉市内の がっこうや しごとにかよう人は、  
「学生証」や 「社員証」も 見せましょう。



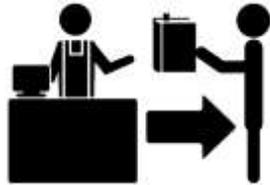
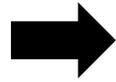
○千葉市に <sup>ちばし</sup> すんでいる人<sup>ひと</sup>や、 <sup>ちばし</sup> 千葉市内<sup>ない</sup>の がっこうや <sup>しごと</sup> しょご<sup>と</sup>に かよう人<sup>ひと</sup>は、  
インターネットで、 <sup>と</sup> 図書館<sup>しょかん</sup>の本<sup>ほん</sup>を <sup>よやく</sup> よやく<sup>を</sup> <sup>する</sup> することが <sup>でき</sup> ます。

そのためには、 りようカード<sup>かあど</sup>と パスワード<sup>ぱすわあど</sup>が <sup>ひつ</sup> 必要<sup>よう</sup>です。

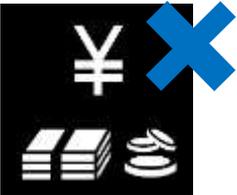
○パスワードが <sup>ほ</sup> しい人<sup>ひと</sup>は、 <sup>と</sup> 図書館<sup>しょかん</sup>の人<sup>ひと</sup>に <sup>い</sup> 言<sup>い</sup>ましよう。



# かりる



○本を <sup>ほん</sup>かりるときは、りようカードと かりたい本を  
かしだしカウンターに <sup>か うん た あ</sup>もって きて ください。



○本を <sup>ほん</sup>かりるのに、おかねは いりません。





ほん  
本は、 10冊<sup>さつ</sup>まで かりることが できます。

ちゅうがくせい いじょう ひと  
中学生以上<sup>いじょう</sup>の人は、 さらに、



でいぶいでい い び で お  
DVD・ビデオは、 2点<sup>てん</sup>まで、



しいでい い  
CDは、 2点<sup>てん</sup>まで、



かせつ と て え ぶ  
カセットテープは、 2点<sup>てん</sup>まで かりることが できます。

しゅうかん  
2週間 かりることが できます。

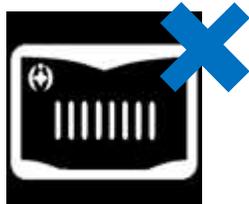


# かえす

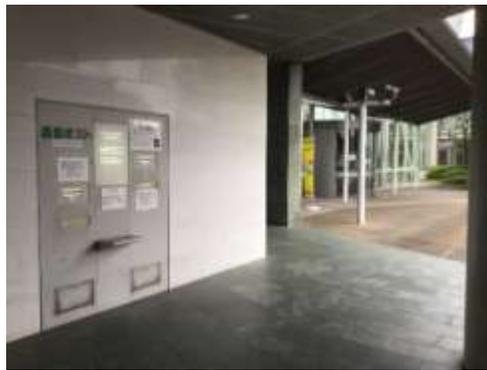


○本を <sup>ほん</sup>かえすところは、1かいの <sup>かうんたあ</sup>あんないカウンターです。

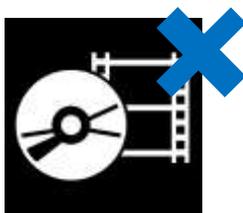
○ほかの <sup>ちばし</sup>千葉市の <sup>としょかん</sup>図書館・<sup>こうみんかん</sup>公民館 <sup>としょしつ</sup>図書室の本も、<sup>ほん</sup>かえすことができます。



○本を <sup>ほん</sup>かえすときは、<sup>かあど</sup>りようカードは <sup>いりません</sup>いりません。



としょかん  
○図書館が しまっているときは、 ほん を ぶっくぽすと に いれて ください。  
ぶっくぽすと  
ブックポストは、 としょかん  
図書館の おもてがわの いりぐちの よこに あります。

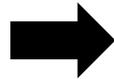


しいでいい  
○CD・ D V D・ かみしばいは、  
でいいぶいでいい  
ブックポストに いれなくて ください。

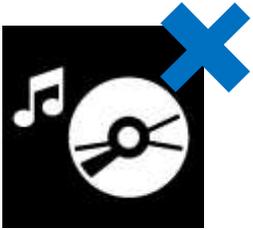


# ほん かえす日 を のばす

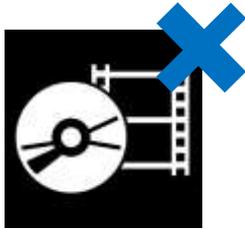
○かりた本の <sup>ほん</sup> かえす日<sup>ひ</sup>が おくれるときは、 <sup>としょかん</sup> 図書館<sup>ひと</sup>の人に <sup>い</sup> 言いましょう。  
つぎに <sup>ひと</sup> まっている人が <sup>い</sup> ない ときは、  
1かいだけ、 <sup>しゅうかん</sup> 2週間<sup>ひ</sup>まで、 <sup>い</sup> かえす日 を のばせます。



○でんわや <sup>いんたあねっと</sup> インターネット<sup>ひ</sup>でも、 <sup>い</sup> かえす日 を のばせます。

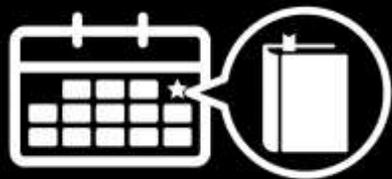


しいでいい  
O C D ・



でいいぶいでいい  
D V Dなどは、

かえす日<sup>ひ</sup>を のばせません。



# よやく

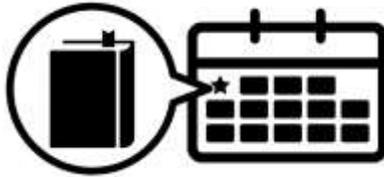
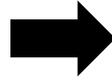
○ほかの<sup>ひと</sup>人が <sup>ほん</sup>かりている本や、

<sup>ちゅうおうとしょかん</sup>中央図書館に <sup>ない</sup>ないけれど、 <sup>ほかの</sup>ほかの <sup>ちばし</sup>千葉市の <sup>としょかん</sup>図書館・<sup>こうみんかん</sup>公民館<sup>としょしつ</sup>図書室に <sup>ある</sup>ある本は、  
よやくを <sup>する</sup>することが <sup>できます</sup>できます。

○<sup>ちばし</sup>千葉市に <sup>すんで</sup>すんでいる人や、<sup>ちばし</sup>千葉市<sup>ない</sup>内の <sup>がっこう</sup>がっこうや <sup>しごと</sup>しごとに <sup>かよう</sup>かよう<sup>ひと</sup>人は、

<sup>ちばし</sup>千葉市の <sup>としょかん</sup>図書館・<sup>こうみんかん</sup>公民館<sup>としょしつ</sup>図書室に <sup>ない</sup>ない本も、 <sup>よやく</sup>よやくを <sup>する</sup>することが <sup>できます</sup>できます。

○よやくしたいときは、<sup>としょかん</sup>図書館<sup>ひと</sup>の人に <sup>い</sup>いましょう。



ちばし  
○千葉市に  
でんわや  
すんでいる人<sup>ひと</sup>や、  
ちばし<sup>ない</sup>千葉市内の  
がっこうや  
しごとに  
かよう人<sup>ひと</sup>は、  
いんたあねっと  
インターネットでも  
よやくが  
できます。



ほん  
本は、  
10冊<sup>さつ</sup>まで  
よやく  
できます。

ちゅうがくせい<sup>いじょう</sup> ひと  
中学生以上<sup>いじょう</sup>の人<sup>ひと</sup>は、  
さらに、



でいび<sup>い</sup>でい<sup>い</sup>び<sup>で</sup>お  
D V D ・ ビデオは、  
てん  
4点<sup>まで</sup>まで、



しい<sup>い</sup>でい<sup>い</sup>  
C D は、  
てん  
4点<sup>まで</sup>まで、



かせ<sup>つ</sup>とてえ<sup>ぶ</sup>  
カセットテープ<sup>は</sup>は、  
てん  
4点<sup>まで</sup>まで  
よやく  
できます。



# こびい コピー

- <sup>としょかん</sup>図書館の本は、<sup>ほん</sup>じぶんのために、<sup>こびい</sup>コピーを <sup>い</sup>することができます。
- <sup>こびい</sup>コピーを <sup>い</sup>したいときは、<sup>としょかん</sup>図書館の<sup>ひと</sup>人に <sup>い</sup>言いましょう。



- しろくろ<sup>こびい</sup>コピーは、<sup>えん</sup>1まい 10円です。
- カラ<sup>からあ</sup>ーコピーは、<sup>えん</sup>1まい 70円です。

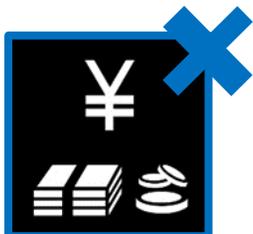




# ほん いえ 本を 家にとどけてほしい



- 千葉市に <sup>ちばし</sup> すんでいる人<sup>ひと</sup>や、千葉市内の <sup>ちばし</sup> がっこうや <sup>ない</sup> しごと<sup>ひと</sup>にかよう人は、  
<sup>ちゅうおう</sup> 中央図書館<sup>としょかん</sup>から <sup>いえ</sup> 家<sup>い</sup>や <sup>しよくば</sup> しょくば<sup>い</sup>に、<sup>た</sup> たくはい<sup>びん</sup> びんで、  
<sup>としょかん</sup> 図書館<sup>ほん</sup>の本<sup>ほん</sup>を とどける<sup>こと</sup>が <sup>でき</sup> ます。
- とどけて <sup>ほしい</sup> 人<sup>ひと</sup>は、<sup>としょかん</sup> 図書館<sup>ひと</sup>の人<sup>い</sup>に <sup>い</sup> 言<sup>い</sup>い<sup>ま</sup>し<sup>よ</sup>う。
- 20日間 <sup>かり</sup> かる<sup>こと</sup>が <sup>でき</sup> ます。
- とどけるのに <sup>かね</sup> お金<sup>が</sup> <sup>い</sup> 入<sup>り</sup>ます。



○千葉市に <sup>ちばし</sup> すんでいる <sup>ひと</sup>人で、

からだに <sup>しょうがい</sup>があつて <sup>としょかん</sup> 図書館に <sup>い</sup> 行けない <sup>ひと</sup>人は、

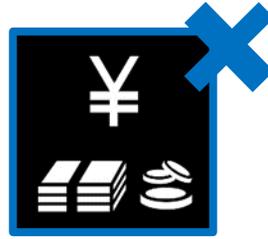
く <sup>としょかん</sup> 区の <sup>ひと</sup> 図書館の <sup>いえ</sup> 人が <sup>としょかん</sup> 家に、 <sup>ほん</sup> 図書館の本を <sup>とどける</sup> ことができ <sup>ます</sup> ます。

○とどけて <sup>ほしい</sup> 人は、 <sup>すんでいる</sup> 区の <sup>としょかん</sup> 図書館の <sup>ひと</sup> 人に <sup>い</sup> 言い <sup>ま</sup> しょう。

○2 <sup>しゅうかん</sup> 週間 <sup>かり</sup> りることが <sup>でき</sup> ます。

○とどけるのに <sup>かね</sup> お金は <sup>い</sup> り <sup>ま</sup> せん。

○かりられる <sup>さっすう</sup> 冊数は、 <sup>この</sup> 「<sup>り</sup>よう <sup>あん</sup>ない」の <sup>13</sup> ページを <sup>み</sup> てください。



○千葉市に <sup>ちばし</sup> すんでいる <sup>ひと</sup>人で、

目に <sup>め</sup> しょうがいがあつて <sup>ほん</sup> 本をよむことが <sup>ひと</sup> むずかしい人は、

中央図書館から <sup>ちゅうおつとしょかん</sup> ゆうびんで <sup>いえ</sup> 家に <sup>としょかん</sup> 図書館の本を <sup>ほん</sup> とどけることが <sup>ひと</sup> できます。

○とどけて <sup>ひと</sup> ほしい人は、 <sup>としょかん</sup> 図書館の人に <sup>い</sup> 言いましょう。

○4 <sup>しゅうかん</sup> 週間 <sup>ひと</sup> かりることが <sup>い</sup> できます。

○とどけるのに <sup>かね</sup> お金は <sup>いりません</sup> ありません。



こえ ほん で い じ い  
声の本（デイジーなど）、



てん じ ほん  
点字の本、



かつ じ ほん  
活字の本、

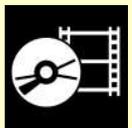


か せ っ と て え ぶ  
カセットテープは、 あわ せ て 10 点 まで、

このほかに、



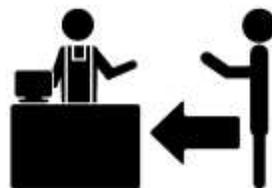
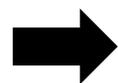
し い で い い  
C D は、 2 点 まで、



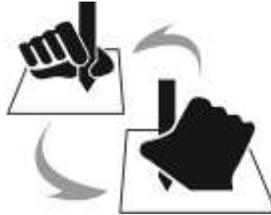
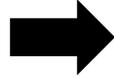
で い い ぶ い で い い び で お  
D V D ・ ビ デ オ は、 2 点 まで か り ら れ ま す。



# てつだいが <sup>ひと</sup>ひつような人は



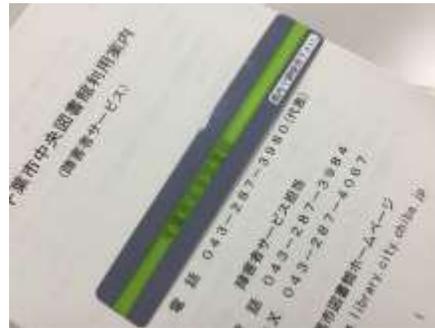
○こまったこと、 わからないこと、 てつだいが <sup>ひと</sup>ひつような人は、  
としょかん <sup>ひと</sup>に <sup>い</sup>言いましょう。



○聞こえにくい人は、<sup>ひと</sup> 図書館の<sup>ひと</sup>人と、

<sup>か</sup>書きながら おはなしする 「ひつだん」が できます。

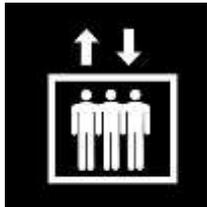
○「ひつだん」を <sup>ひと</sup> したい人は、<sup>としょかん</sup> 図書館の<sup>ひと</sup>人に <sup>い</sup> 言いましょう。



○かくだいきょう、<sup>りいでいんぐ</sup> ろうがんきょう、<sup>とらっかあ</sup> リーディング トラッカーを

<sup>としょかん</sup> 図書館のなかで <sup>つかう</sup> つかうことが できます。

○つかいたい人は、<sup>ひと</sup> <sup>としょかん</sup> 図書館の<sup>ひと</sup>人に <sup>い</sup> 言いましょう。



くるま  
○ 車いすを かりることが できます。

え れ べ え た あ  
エレベーター、 しょうがいしゃ用の ちゅうしゃじょう、 と い れ  
トイレが あります。



○ 「かくだい どくしょき」が あります。

ちい  
小さな もじを おお  
大きくして よむことが できます。

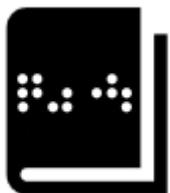


○「しりょう よみあげき」が あります。

かつじ ほん コンピュータあ  
活字の本を コンピューターが よんでくれます。



こえ ほん かせつとてえぶ でいじい  
○声の本（カセットテープや デイジー）を よんでくれる きかいが あります。



てんじ ほん  
 ○点字の本や ぬので できた えほんの ように、  
 さわって よむ本が あります。



じ ひと  
 ○字を よむことが むずかしい人でも、  
 こえ としょかん ほん  
 声で 図書館にある本を さがすことが できる コンピューターが あります。



○千葉市に すんでいる人で、

目に しょうがいがあって 本をよむことが むずかしい人は、

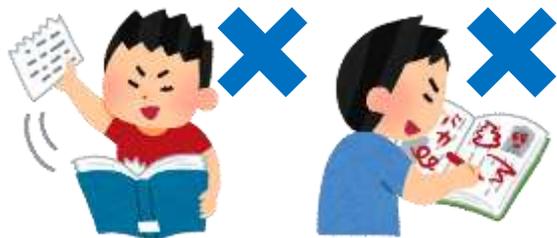
かわりに よんでもらう 「たいめん おんやく サービス」が あります。

○よんで ほしい人は、図書館の人に 言ってください。 よやくが ひつようです。

○よんでもらうのに お金は いりません。

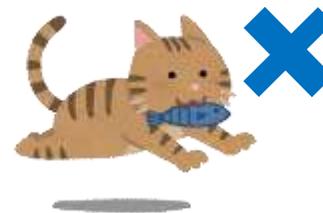


# としょかん 図書館からの おねがい



○<sup>としょかん</sup>図書館の <sup>ほん</sup>本は、 みんなで つかうものです。  
よごしたり やぶいたり しないで  
たいせつに してください。

○<sup>としょかん</sup>図書館の なかでは、 はしらないで ください。



○<sup>としょかん</sup>図書館の なかでは、  
けいたい でんわで はなしたり、  
<sup>おお</sup>大きな こえで しゃべらないで ください。



○<sup>としよかん</sup>図書館のなかでは、たべたり、のむことは、  
しないでください。

○ふたがきちんとしまる いれものには  
はいつているのみものは、  
のむことができます。



この「やさしい りよう あんない」は、すべての人に 図書館を 利用して ほしいという  
願いから、身体に 障害がある人、ふだん 外国語や 手話をつかう人も できるだけ  
わかりやすいように、やさしい日本語や 絵記号を 使って 作りました。

この「やさしいりよう あんない」をつくるために、千葉県立中央図書館や  
千葉県立袖ヶ浦特別支援学校の みなさんに たすけて いただきました。

また、岐阜県図書館協議会の みなさんには、「コミュニケーション ボード」の 絵記号を  
つかわして いただきました。あつく お礼を もうしあげます。



「やさしい りよう あんない」 ~ようこそ ちばしちゅうおうとしょかん 千葉市中央図書館へ~  
へいせい ねん (2017年) 10月 がつ  
せいさく ちばしちゅうおうとしょかん じょうほうしりょうか じょうほうさあびすはん  
制作 千葉市中央図書館 情報資料課 情報サービス班  
しょうがいしゃ たんとう  
(障害者サービス担当)

この利用案内は、共用品推進機構の「コミュニケーション支援用絵記号デザイン原則 (JIS T0103)」および岐阜県図書館協議会の「コミュニケーションボード」掲載されている絵記号を使用させていただきました。また、近畿視覚障害者情報サービス研究協議会の「LL版図書館利用案内」を参考に編集・作成しました。